

サイシン 夏に強い中国野菜

ナバナに似た中国野菜で、茎葉と花蕾（からい）を食べます。草丈30~40cmと小型で暑さに強く、高温でもとうがよく立つので幅広い時期に栽培ができます。茎は柔らかく、黄色い花を付けます。ナバナと同様にさつとゆでておひたしや、油炒めにしていただきます。中間地では4月から9月まで種まきができ、夏まきでは40日程度、春と秋まきでは60日程度で収穫期となります。

【品種】

中国には収穫までの生育日数の短い早生品種から、生育日数の長い晩生品種までいろいろありますが、日本では早生系の品種が作られています。「早生系サイシン」（タキイ種苗）、「中国菜心」（サカタのタネ）などがあります。

【畑の準備】

あらかじめ土の酸性を改善するため、1平方m当たり苦土石灰100gをすき込んで耕しておきます。次に、種まきの1週間前に幅90cm程度の栽培床（ベッド）を作り、1平方m当たり化成肥料（NPK各成分10%）100gと堆肥2kgを全面に施し、土と混ぜ、くわでベッドを平らにします（図1）。

【種まき】

ベッドに直角に条間20~25cmの種まき溝を切ります。まき溝は木板を土に押し付け、溝を付けた深さが一定になります。じかまきとし、まき溝に2、3cm間隔に筋まきします（図2）。その後、べたがけ資材を使えば、乾燥や強い雨を防ぐと同時に害虫の予防にも有効です。

【間引き】

1回目は発芽後、子葉が重なる株を間引き、2回目は本葉2、3枚の頃に株間5cm程度、3回目は本葉5、6枚で株間15~20cmに間引きます（図3）。

【追肥】

最後の間引き後に1平方m当たり化成肥料50g程度の追肥をし、軽く土寄せします。なお、畑が乾くときには、十分灌水（かんすい）します。

【病害虫の防除】

アブラムシには粘着くん液剤などの気門封鎖剤で防除します。アオムシ、コナガにはアファーム乳剤、トアロー水和剤CTなどを使います。なお、べたがけ資材を除いた後は、防虫ネットで被覆するのが良いでしょう。

【収穫】

とう立ち後、30cmくらいに伸び1、2花が咲き始めたら株元から切り取って収穫します（図4）。なお、下の葉を3、4枚残して切り取ると、脇芽から再び茎が伸びてくるので、さらに追肥して長い間収穫ができます。

図1 畑の準備

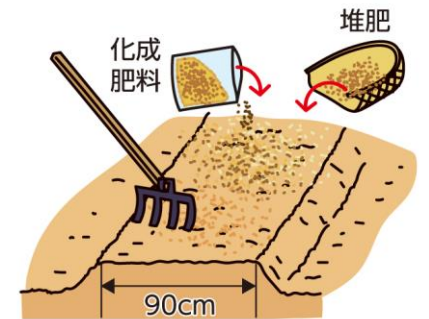


図2 種まき

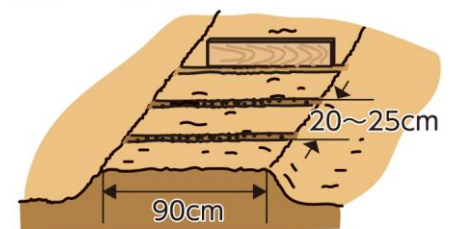


図3 間引き

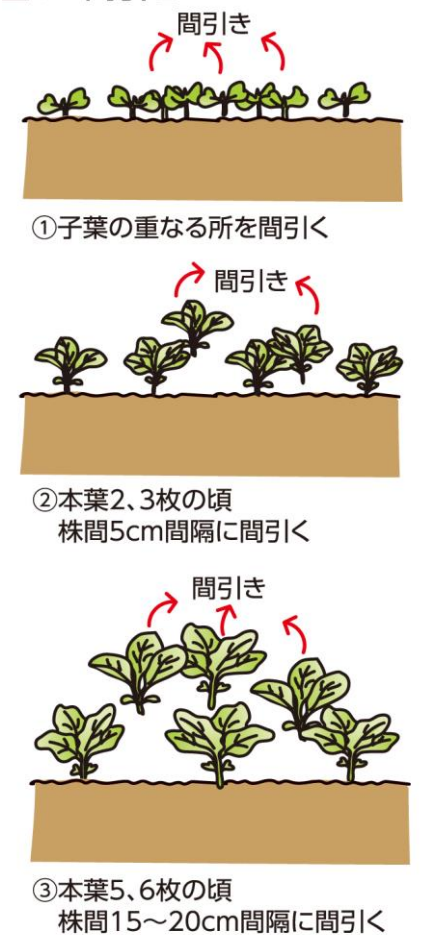
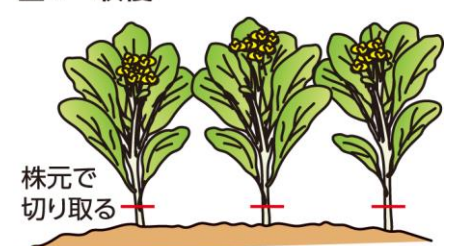


図4 収穫



栽培カレンダー(サイシン)

月	3	4	5	6	7	8	9	10	11
冷涼地			●	—	■		●	—	■
中間地		●	—	■					
暖地							●	—	■

● 種まき — 生育 ■ 収穫